

7/8、グランパラディーツ・後編

400 小屋を出発、家内はまだ寝ている、暗いうちに小屋を出る、グランパラディーツ頂上アタックするグループが続々と出発する中に交じって、登り始める。



430 30分ほど歩くと雪渓が現れて、皆、アイゼンやザイルを付けている。少し明るくなり周囲の地形が見える。



雪渓を登るパーティ



グランパラディーツ頂上

私は、昨日、小屋のベテランガイドに教えてもらったルートである、雪渓谷の左側の石ころ斜面を登った。薄い踏み跡やケルンがあり、人が歩いた形跡がある。傾斜は緩く、岩斜面だが障害物もなく、スイスイ登れる。しばらく雪渓の左側の小尾根台地を、雪渓と平行に登って高度を稼いだ。

600 しばらく登り高度 3050m ぐらいのところまで、グランパラディーソ頂上らしき白いピークが見えた。



ここで記念写真を撮った。ちょうど日の出で、素晴らしい景色を堪能した。



下りの景色、3000～4000m級の山々が連なる

下りもスイスイ歩き易かった。途中でアイベックスの群れを2回見た。



アイベックス (ヤギ属の一種、主にアルプス山脈に生息)



小屋 (手前) の周辺、夜明けの山々



エマニュエル 2 世小屋



池に映る山

730-830 小屋に戻り朝食をゆっくり食べる。





朝食後、小屋を後にゆっくりと下る。途中でマーモットに出会う。今回頂上にはいけなかった、頂上に行ける体力もなかったが、小屋泊まり往復だけでも、十分にイタリア・アルプスを楽しむことが出来た。

1030 pont の駐車場に戻った。

ここから車でクールマイユールに向かった。